

令和2年度 第1回 大阪府立狭山池博物館運営審議会

参考資料

**(令和元年度大阪府立狭山池博物館運営審議会
での意見への対応)**

令和2年10月15日

令和元年度大阪府立狭山池博物館運営審議会での意見への対応

【意見への対応】

委員意見	意見の反映
どの取組みがどの目的に繋がるのか考える必要があるのではないか。 どの取組みが目標・目的・指標に結びつくのか意識する必要があるのではないか。	指標の検討にあたり、将来像⇒取組みの柱⇒目指すべき姿⇒具体的なアクション⇒具体的な取組み⇒指標のつながりを意識して指標の案を作成
様々な取組みが考えられているが、個々の取組みが縦割りで行われるのではなく、有機的に繋がるようになればよいと思う。 例えば、古文書講座と防災講座の参加者の関連を整理することで参加者の拡がりに繋げることができるのではないか。	来館者アンケート、イベントアンケートにおいて、展示や各種イベントへの興味などが確認できるアンケートを検討中
取組んでいるイベントのターゲットに対して、伝えたいことが相手に届いているか、その反応が戻ってきているか。アンケート等で確認してはどうか。	防災講座のような個別の取組みにおいて、アンケートで確認できるような設問を作成しアンケートを実施予定
地域の方を対象にしたイベントをすることについて、地域の方を博物館に呼ぶことで来館者を増やすことが目的なのか、地域を活性化することが目的なのか、考えるべきだと思う。	3本柱を推進するとなると双方を高める必要があるため、それぞれの目指すべき姿として明確化を行った。
資料P.9の指標の数が多すぎるのではないか。 たくさんの指標があると形式的になりがち。	指標の検討において2項目に絞り込みを行った
アンケート回収の改善のため、インターネットを活用してみてもどうか。	ホームページ上でのアンケートの実施に向けて検討中
今の博物館ホームページを見たがピンク色がベースだった。ピンク色に意味があるのか。 例えばSUNTORY（企業理念・水と生きる）の水色のイメージカラーのようなものを設定しないのか。	ホームページの改良を行い現在公開中（写真などを多くし、全体的に明るい雰囲気としている）
今の若者はブログを見ない。SNSのハッシュタグなどを活用してみてもどうか。	従来のブログに加え、Twitter、インスタグラムによる情報発信を実施

令和元年度大阪府立狭山池博物館運営審議会での意見への対応

委員意見	意見の反映
資料P.18のホームページ改良について 狭山池の水辺の写真が入っていないのが残念。	現在、改良後のホームページを公開しているが、随時改良を 続け、写真なども多く取り入れていく予定
南海電鉄が東京でキャンペーンをして盛況であったと聞いた。東京事務所 と連携して東京で発信してみてもどうか。	コロナの影響により現状では難しいが、引き続き現在検討中の 連携先だけでなく、より広い視野で「新たな連携先」と「取組 み」の掘り起こしを実施する。
参加体験型の催し（防災マップづくりなど）をすることで、体験した人が他 の人に面白い体験をしたことや博物館のことを伝えることに繋がると思う。	継続する取組みの中で参加者体験型の催しを企画・実施す る。（例えば、防災講座のメニューとして防災マップづくりを実 施するなど）
全国ドボジョサミットと題したイベントを開催してはどうか。大阪狭山市・狭 山池博物館はドボジョを応援していますという発信になるのではないか。	「何かの応援団」というような連携の仕方についても、新たな取 組みの一つとして今後の検討に加える。
資料P.16の「安藤建築に関する説明が少ない」ということについて 建築関係の団体との連携によって解消できるのではないか。	今後の建築関係団体との協議の中で対応案を検討していく。
防災講座をホームページ上でオープン化すれば、博物館での講座に来た 人だけでなく、インターネットを通じて多くの人に発信できるし、データの記録 としても残る。	ホームページの改良の中で、データの収集、公開の手法、デー タ蓄積の課題と対応方針などについて検討を行う。
まちづくりのネットワーク構想は素晴らしいと思うが、どのようにして博物館に 人を誘導するのかということを考えてほしい。	市のネットワーク構想による周辺整備とも連携し、狭山池周 辺においてマップや説明板を設置する際には博物館の紹介を 入れてもらうなどの調整を行う。
新たな収入について 京大防災研でも予算が減る中で基金を立ち上げている。 クラウドファンディングと違い基金は継続して使うことができる。基金への協 力者を募るために博物館への銘板設置や図録資料等贈呈などのインセン ティブを与えるなど考えられるのでは。	基金の受け入れ方、活用方法など、他事例を参考に基金の 活用について検討する
水庭の水質・壁面の汚れがひどくなっている。20周年に向けて壁面だけ でもきれいにすることを目標に入れてもらえないか。	老朽化による設備更新などもあるため、限りある予算の中で対 応が可能か引き続き検討する。